

幼児・小学校低学年向け ねらい：熊本地震発災の日を知り、地震の時に身を守る方法を知る。

流れ	学習内容・活動	○主な発問（予想される反応）・留意点等	備考
10分	1 熊本地震の発災日（前震・本震）を知る	○熊本地震はいつ起きたか知っていますか？ ・「4月14日」「4月16日」 ※写真や絵で地震の様子を紹介	※配慮が必要な幼児・児童を把握しておく 参考）「学校防災教育指導の手引き」「つなぐ」
	2 教室内の危険・安全な場所を指差して確認する	○地震が起きたら教室で危ないところはどこですか？ ・棚の近く ○どこが安全ですか？ ・机の下	
	3 地震の時に身を守る方法を確認する	○地震が起きた時、上から落ちてくるものから身を守るためににはどうしたらいいですか？ ・先生の話を聞く・机の下にもぐる ※校舎は倒壊しないことを伝え、安心して避難指示に従うことを確認する ※「ダンゴムシのポーズ」を練習し、次の災害に備える	
	4 地域の災害リスクを知る	○家・幼稚園・学校の近くの川の様子です。たくさん雨が降ったらどうなると思いますか？ ・川の水があふれる・家が沈む ※危険個所には近寄らないことを確認する	絵地図やイラストを活用

小学校中・高学年向け ねらい：熊本地震を振り返り、校舎や地域の特徴を知って身を守る方法を理解する。

流れ	学習内容・活動	○主な発問（予想される反応）・留意点等	備考
10分	1 熊本地震の発災日（前震・本震）と被害の概要を知る	○4月14日・16日は何があったでしょうか？ ・熊本地震が起きた日 ○どんな被害があったでしょうか？ ・家が壊れた・電気が止まった	※配慮が必要な児童・生徒を把握しておく 参考）「学校防災教育指導の手引き」「つなぐ」
	2 自クラスや校内の地震に対するリスクを共有する	○地震が起きた場合、この教室（校内）で危ない場所を話し合ってみましょう。 ※非構造部材の脆弱性や身を守る方法について確認する ※校舎は倒壊しないことを伝え、安心して避難指示に従うことを確認する	
	3 次の地震に備える	○次の地震に備えてできることは何でしょうか？ ・家具を固定・避難経路確認 ※首都直下型地震、南海トラフ地震の発生について知り、いつ日本で地震が起きてもおかしくない状況を知る ○家族で学校外において災害が起きた時の行動について話し合いましょう。 ・避難場所の確認・防災グッズの準備等	例）家族で話し合ったことをまとめ、日常的に確認できるようにする等
	4 地域の災害リスクを知る	○学校周辺（または地域）のハザードマップを見ると、どんな災害が起きやすいでしょうか？ ・洪水・津波・火山噴火等 ※地域の脆弱性について理解し、避難方法を共有する	・地域のハザードマップ（模造紙や電子黒板等で可視化）

中学校・高校向け

ねらい： 熊本地震で被害に遭われた方に心を寄せ、ハザードマップを活用し地域防災に貢献する意識を高める。

流れ	学習内容・活動	○主な発問（予想される反応）・留意点等	備考
10分	1 熊本地震の発災日（前震・本震）と被害の概要を知る	○平成28年4月14日・16日は何の日でしょうか? ・熊本地震が起きた日 ○どんな被害があったでしょうか? ・家の倒壊　・熊本城の損壊	※配慮が必要な児童・生徒を把握しておく 参考)「学校防災教育指導の手引き」「つなぐ」
	2 自クラスや校内のリスクを共有する	○地震が起きた場合、学校で特に危険な場所はどこか話し合ってみましょう。 ・体育館の照明　・図書室の棚 ※非構造部材の脆弱性や身を守る方法について確認する ※校舎は倒壊しないことを確認し、安心して避難指示に従うことを確認する	
	3 次の災害に備える	○今日からできる行動をグループで共有しましょう。 ※首都直下型地震、南海トラフ地震発生について知り、いつ日本で地震が起きてもおかしくない状況を知る ○家族で学校外の災害について話し合いましょう。 ・避難経路や場所の確認　・防災パックの準備 等 ※防災への意識や、地域防災への貢献（共助）についても触れる	※気象庁の震央分布統計など ※地域での避難訓練や家庭での防災の取組にもつなげる
	4 地域の災害リスクを知る	○学校周辺（または地域）のハザードマップを見ると、どんなリスクが考えられるでしょうか? ・洪水　・津波　・火山噴火 等 ※住んでいる地域の危険等を分析したり警戒レベルについて確認したりする	ハザードマップ（模造紙や電子黒板等で可視化）